

東京都における待機児問題の背景（長期的視点）

保育所整備の状況

- 東京都は、保育ニーズの増加を受け、平成20～22年度の3年間で保育サービス定員15,000人を整備する「保育サービス拡充緊急3ヵ年事業」を実施。平成20年度の整備目標「4,462人」を超える「4,629人」分の整備を達成している。
- 認可保育所・認証保育所の入所率は年々上昇しており、特にニーズの高い0～2歳児については、定員を超えた入所受け入れを行っているが、H20年度の待機児数は、前年度から878人増加している。
- そこで、「保育サービス拡充緊急3ヵ年事業」における平成22年度整備目標値の一部を前倒しし、21年度整備目標を5,000人から8,000人に引き上げ、対応を進めている。

待機児とは？（新定義と旧定義）

旧定義：認可保育所に入所の申込をしているが定員に空きがなく入所できない児童
 新定義：認可保育所に入所できなかった児童のうち、地方単独施策（東京都独自の認証保育所制度等）により、保育を受けている児童等を除く。

都内待機児数等の推移（平成21年4月1日現在）

新定義			旧定義		
0歳児	1,334人		0歳児	3,024人	
1歳児	3,877人		1歳児	7,376人	
2歳児	2,036人		2歳児	3,850人	
3歳児	538人		3歳児	1,138人	
4歳以上児	154人		4歳以上児	453人	
小計	7,939人		小計	15,841人	
※前年度 +2,460人			※前年度 +4,978人		

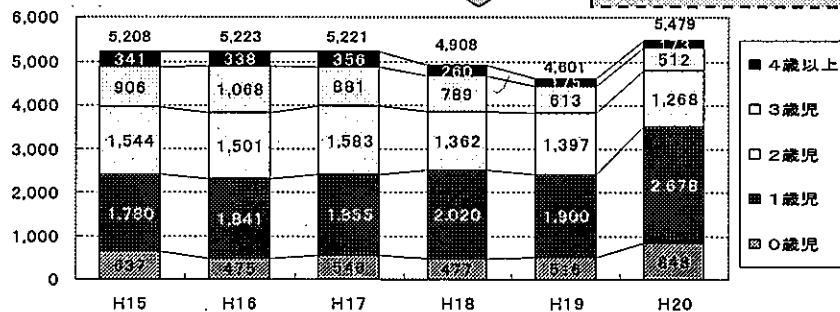
東京都では「認証保育所」（都単独施策）が待機児童解消に大きく貢献！

<認証保育所のメリット>

- 保育を必要とする人が誰でも利用可能。
- 住所地に関係なく希望の圏に申込可能。
- 13時間開所が基本
- ゼロ歳児保育の実施
- 駅前などの利便性

待機児童数・保育所整備状況

待機児童数（過去6年間） 単位：人

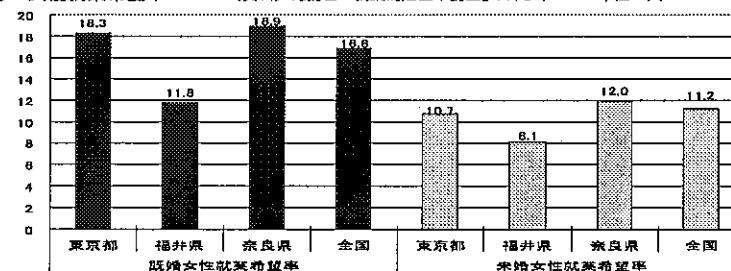


保育所の設置状況（平成21年4月時点）

認可保育所		認証保育所	
施設数	定員	施設数	定員
1,705所	169,184人	448所	14,161人
+16所	+2,632人	+38所	+1,438人

女性就業希望率と保育利用（認可保育所）

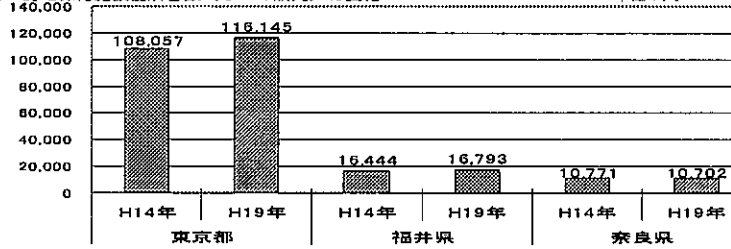
① 女性就業希望率（資料）総務省「就業構造基本調査」H19年 単位：人



福岡県
→女性就業率が高く、合計特殊出生率の高い県
奈良県
→女性就業率が低く、合計特殊出生率の高い県

◆女性就業率が低い東京・奈良は、既婚女性の就業に対する潜在ニーズが高く、有業率が大きく増加する可能性がある。きっかけは、経済状況の悪化による求職者の増等

② 認可保育施設在在者数（0～4歳児）の変化 単位：人

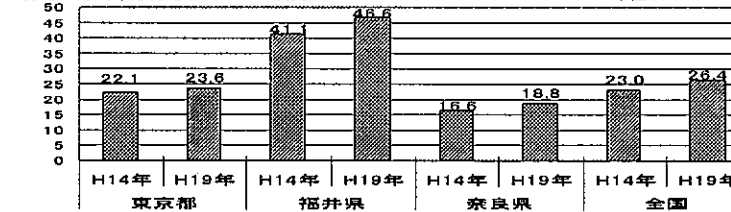


資料：総務省「人口統計」、厚生労働省「社会福祉施設等調査報告」

◆東京都の認可保育所の保育利用率は福岡県の約半分と、年少児童に対するサービスのカバー率が低い。

◆在在者数にみられる実数ベースの保育需要の大きさと、カバー率の低さが背景にあるため、女性の就業率の上昇が新たな保育需要の増加に大きく影響する。

③ 認可保育所保育利用率（0～4歳児） 単位：人



資料：総務省「人口統計」、厚生労働省「社会福祉施設調査報告」

※保育利用率
→0～4歳児に占める保育施設在在者数の割合を指す。

総括

- 東京都において、保育所整備を進める半面、待機児童が増加した背景には
- ◆ 既婚女性の有業率が低く、就業を希望する既婚女性の割合が高い。
 - ◆ 総人口と年少児童人口が増加している中で、既婚女性の就業希望が増えているため、就業を希望する既婚女性の実数ベースでの変化が大きい。
 - ◆ 年少児童に対する認可保育所の保育のカバー率が他府県よりも低いという状況があると考えられる。

【参考】 認証保育所の保育料に対し、各団体が親の負担軽減補助等を行っている場合、保育の必要性が低くとも、「保育所で面倒をみてもらう」ために子どもを預ける事例も生じている。（親の変化）